

議会だより

発行 鎌ヶ谷市議会
 編集 議会だより編集委員会
 〒273-0195
 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷二丁目6番1号
 電話 047(445)1191(直通)
 FAX 047(445)2053
 メール gikaisyomu@city.kamagaya.chiba.jp



福太郎スタジアムリニューアルオープン式典が開催されました。(4月13日)

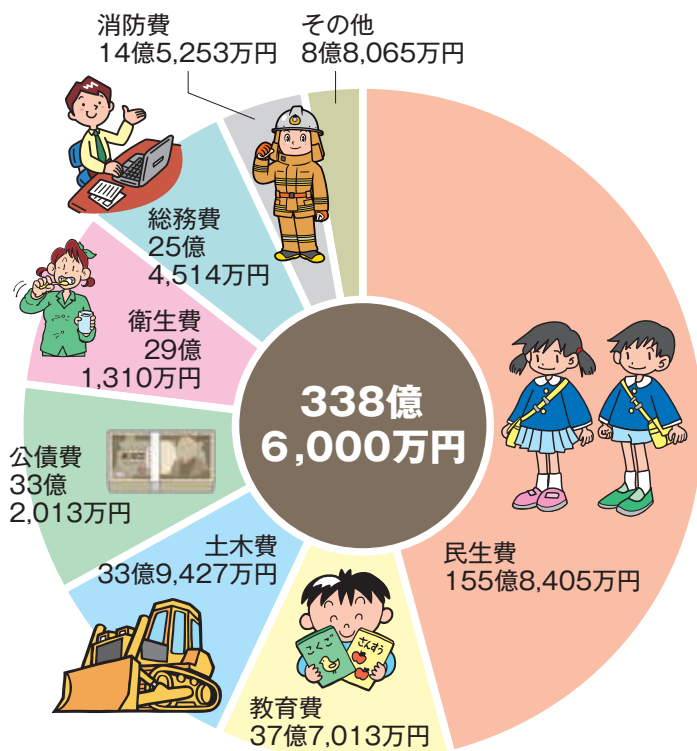
3月定例会

通年議会の実施に伴う関連議案3件を可決しました。

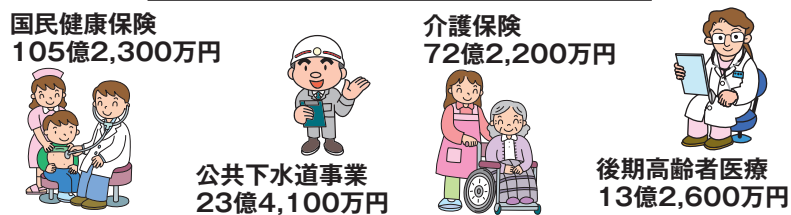
「鎌ヶ谷市議会定例会に関する条例の制定について」など通年議会の実施に伴う関連議案を可決しました。
 これにより、鎌ヶ谷市議会のさらなる議会機能の充実強化を図ります。

総額552億7,200万円の平成31年度予算を可決

平成31年度一般会計予算のつかわれ方



平成31年度特別会計予算



今定例会では、市長から提出された議案等16件、議員から提出された発議案4件、市民の方などから提出された陳情3件、及び閉会中の継続審査となっている陳情1件について審議しました。
 可決された議案は、鎌ヶ谷市東日本大震災復興基金条例を廃止する条例の制定についてなどです。
 なお、平成31年度一般会計及び4特別会計予算案は、委員10人からなる予算審査特別委員会を設置して審査し、本会議において、審査の経過と結果が委員長から報告された後、採決の結果、賛成多数で可決されました。
 (審議の結果は4面に掲載)

5月から通年議会を導入します

これまで、鎌ヶ谷市議会は時代に即応した議会のあり方として、議会の活性化を目指し、議会改革に取り組んできました。今回、さらなる改革の推進を図るため、今年5月から、会期を概ね1年間とする「通年議会」を導入することとしました。

通年議会の目的

- ①議会が長期間にわたり活動能力を有することで、議会機能の充実強化を図ります。
- ②大規模災害時等の緊急時において迅速に対応できる体制を整えます。
- ③二元代表制の観点から議会の判断で本会議を開催する権利を確保します。

通年議会の流れ

毎年5月に市長が定例会を招集し、議会が会期を決定します。会期は毎年5月から翌年4月までを基本とし、会期中は、年4回(6月、9月、12月及び3月)開かれる定例の会議で、議案等の審議や一般質問を行います。その他必要に応じて臨時に会議を開きます。

3月定例会日程

2月21日(木)	開会
3月1日(木)	会期の決定
3月2日(金)	議案の提案説明
3月3日(土)	議案に対する質疑
3月4日(日)	議案に対する質疑
3月4日(日)	総務企画常任委員会
3月4日(日)	都市民生常任委員会
3月4日(日)	教育福祉常任委員会
3月4日(日)	予算審査特別委員会
3月5日(月)	予算審査特別委員会
3月8日(木)	一般質問
3月11日(日)	一般質問
3月13日(火)	一般質問
3月14日(水)	一般質問
3月18日(日)	委員長報告
3月18日(日)	追加議案の上程
3月18日(日)	発議案の提出
3月18日(日)	質疑・討論・採決
3月18日(日)	閉会

人権擁護委員の推薦について

現委員の篠原遼一氏、加郷由里子氏の任期が満了するため、再任することと意見を求められ、適任としました。

国に意見書を提出しました

○幼児教育・保育無償化に係る制度の拡充及び地方自治体への財政措置を求める意見書(教育福祉常任委員会の発議)を可決し、国の関係機関に提出しました。

5月会議は5月下旬を予定しています。

市政に関する一般質問

3月定例会は17名の議員が質問

中村潤一 議員

市内の犬の登録件数及びふん書の現状について伺います。

登録件数は、平成29年度5千723頭、28年度5千677頭、27年度5千663頭です。また、犬のふん害については年間50件程度の意見が寄せられ、狂犬病予防接種会場などで啓発物資や注意喚起看板の配布を行い、飼い主のマナー向上に努めています。

万んわんパトロールについて伺います。

千葉県警と千葉獣医師会の連携事業として昨年6月より開始した事業で、飼い主の協力を得て児童の登下校の時間帯に合わせて犬の散歩を通路等でしていただく、気軽に出来るパトロール活動です。飼い主と犬には、隊員証

子ども・子育て支援の施策について

矢崎 悟 議員

児童虐待の事件が、連日報道されており、野田市のよいうな事件が繰り返されないよう、本市においても関係機関の連携強化や相談体制の強化に一層、取り組むべきです。

昨年、国が発表した児童虐待防止対策体制強化プラン

には、市区町村における、子ども家庭総合支援拠点の設置が示されていますが、今後の取り組みを伺います。

虐待対応専門員等の配置など、既存の家庭児童相談室の機能を拡充し、平成32年度の設置を検討しています。

都市計画マスタープランについて

泉川 洋二 議員

都市計画マスタープランは鎌ヶ谷市の将来像を決定するプランですが、用途地域の変更、見直しなどについての見解を伺います。

用途地域は、地域の土地利用の現状と動向、道路等の公共施設の整備状況、住環境への影響、隣接する用途地域との整合などを総合的に勘案し、定めることとされており、本市においては、新鎌ヶ谷駅周辺地区特定土地区画整理事業などの市街地整備事業の進

捗を踏まえ、見直しを行ってきたところです。

今後どのように都市計画マスタープランの見直しを行っていくのか伺います。

の交付や犬の健康診断費用の一部助成などがあります。

飼い主の健康増進やコミュニケーションづくりへの効果について伺います。

愛犬との散歩が飼い主の健康増進やリフレッシュはもとより、地域の防犯力の強化につながります。また、ペットが地域と人をつなげる地域コミュニケーションづくりにより大きな効果が期待できると考えます。



東部地区は、子どもの数が多い地域であり、児童センターの設置を求めるとの意見を多く伺います。設置に向けたスケジューリングを伺います。

平成31年度に建設用地を決定した上で、不動産鑑定及び用地測量を、平成32年度に用地購入、基本設計を行い、平成33年度以降、2年程度をかけて、実施設計、整備工事などを実施する予定です。

障がい者の雇用について

針貝 和幸 議員

障がい者枠の採用試験の実施状況について伺います。

昭和57年度、62年度、平成元年度、3年度、9年度に採用試験を実施しており、今年度は平成9年度以来の採用試験を実施しました。

20年間採用試験を行わず在職職員の手帳取得者を繰り入れることは障害者雇用促進法の趣旨に反していないのか、見解を伺います。

障がい者雇用率の算定は、障害者手帳の取得年月日に影響されないことから、在職中の手帳取得者もその対象として



市庁舎等の利活用について

森谷 宏 議員

市庁舎駐車場の駐車台数を確保するために立体駐車場を整備も考えられますが、見解を伺います。

市庁舎等の限られた敷地の中で、駐車場を確保する手段として立体駐車場を整備することが一つの方法であると考えています。しかし、整備には多額の経費が必要となりますので、高架下の一部を駐車場として利用できるよう調整するなど、市民の皆様の駐車スペースの確保について検討してまいります。

労働安全衛生規則に基づく執務スペース改善のための総合福祉保健センターのレイアウト変更により、本庁舎地下に研修室が移設しましたが、その状況について伺います。

本庁舎地下の改修は、千葉県福祉のまちづくり条例に



市役所地下1階

児童虐待防止・根絶に向けた取り組みについて

松澤 武人 議員

児童虐待の通告があった場合、実際起こったケースでは、どのように対応しているのか伺います。

まずは保育所や小中学校等の関係機関と連携し、子供の所属機関へ訪問、家庭訪問を実施し、児童の安全確認を

市内小中学校のエアコンの保守点検について

伊藤 仁 議員

小中学校の電気式エアコンの簡易点検は、使用者(学校)が実施すればいいものですが、市はそれを新東美装という会社に年間約500万円ほど払い簡易点検を行ってもらっています。しかもその作業報告書に記載の室外機の製造番

外国人住民の増加に対する共生の取り組みについて

芝田 裕美 議員

本市に登録のある外国人の人数について伺います。

本市の外国人住民は、平成10年82人、30年1千645人と増加傾向です。

外国人住民から市に寄せられている意見等はどのようなものがあるか伺います。

申請書等の日本語表記やごみ出しの際のルールがわか

にぎわいのある鎌ヶ谷市の事業について

原 八郎 議員

幼児教育や保育の無償化により、保育園等に預ける方が増え、待機児童が発生し、保育園や保育士が今以上に不足します。各自自治体で保育士の奪い合いが始まりますが、どう対処するのか伺います。

保育士の確保については、

談所へ送致を行い、対応しています。

鎌ヶ谷市児童虐待防止対策等地域協議会の代表者会議を年1回、実務者会議を年4回開催するとともに、必要に応じて関係部署、関係機関との個別支援会議を開催して連携を図っています。

は、仕様書では異常のある場合を除いて義務づけはしておらず、任意で提出された写真です。また、写真のない学校においては、現場で作業が行われたことを確認しました。提出書類に適正でない記載もあり、大変遺憾に存じていますが、保守点検については適正に完了していることを確認しています。

どのような施策に取り組んでいくのか伺います。

主な施策としては、医療、福祉、子育て等の分野での多言語の対応、災害発生時の情報発信や支援の充実、外国人児童生徒の教育等の充実です。



大学の誘致は非常に夢のある話ですが、巨額の財政負担をして誘致してしまうと、後々市民が困ることになる可能性があります。よく考えて進めていかなくてはならないと思っています。

校を誘致する計画を立てることを提案したいと思いますが、見解を伺います。

障がい者(児)をもつ家族の負担軽減について

佐竹 知之 議員

障がい者(児)を持つ家族の休養について、現状と問題について市の考えを伺います。

障がい者(児)の日常における活動の場を確保するとともに、その家族の就労支援及び障がい者(児)を日常的に介護している家族の一次的な休息等を図ることを目的として、日中一時支援事業を実施しています。

精神に障がいのある場合は個室が必要です。市は、個室によるショートステイの施設を紹介することはできないのか伺います。

近年、障がい者(児)が地域の中で安心して生活できるように様々なサービスが提供されていますが、重度の障がいをお持ちの方が利用できるのが現状です。市としても施設整備の支援や施設の紹介

鎌ヶ谷市における「ふるさと学習」について

佐藤 誠 議員

郷土への愛情と理解を育むための学習が大切と考えますが、見解を伺います。

社会科学の指導目標には、社会生活についての理解を図り、必要な国民的資質の基礎を養うとあり、これを達成するためにも、身近である郷土を学習することは大変重要であると考えます。

学習の現状と取り組みについて伺います。

小学校3年生の学習では、副読本として「わたしたちの鎌ヶ谷」を活用して、社会科学の学習を進めています。

郷土文化学習により、子供たちにどのような意識が芽生え、生かされてくると考えますか。

市の歴史や自然等を学び、鎌ヶ谷市のよさを実感することで、市への愛着と学習を深める意欲が育ちます。

今後の取り組み方針及び課題について伺います。

安心な終末期ケアについて

野上 陽子 議員

医療、看護、介護の連携の推進と在宅生活を支える体制の強化について伺います。

在宅医療の支援体制の整備を目指し、鎌ヶ谷市医師会と訪問看護事業所が在宅医療に関する情報交換や課題などについて定期的に話し合いを行っています。また、医療機関と介護事業者がスムーズに連携ができるように、多職種による研修会などで在宅医療に関する事例検討や情報共有

終末期の医療について考えるきっかけ作りや啓発の必要性について見解を伺います。

自分はどうしたいのか考えるきっかけとなる終活講座や啓発冊子は大変有効であると考えます。本市におきましても、今後看取りや在宅医療についての講演会の開催や冊

などを行い、利用者の希望に添えるよう努めています。



全ての教師が鎌ヶ谷市についての認識を深めることが必要であり、郷土資料館の出張講座の活用や地域を実際に歩いて学ぶ研修を初任者に対して行っています。



子の作成など、市民への啓発を検討していきます。



救急医療体制の現状と改善策について

宗川 洋一 議員

救急医療体制の現状と課題について伺います。

救急医療体制については、鎌ヶ谷総合病院と東邦鎌ヶ谷病院において初期救急医療及び2次救急医療への対応を24時間行っているか伺います。

鎌ヶ谷総合病院との基本協定の達成状況について伺います。

基本協定は、おおむね達成されていますが、医療機能のうち、24時間、365日対応可能な小児救急及び女性専用外来診療の実現が達成されていません。

市は現状をどのように改善しようと考えていますか。

鎌ヶ谷総合病院には引き続き基本協定の遵守に向けて段階的にも整備を進めていただき、最優先事項として小

児科医師を確保し、診療時間や救急受け付け時間の拡大ができるよう、機会を捉えてお願いするとともに、小児救急体制がとれるまでの間の方策について話し合い、市としてでき得る対応をしていきます。



児童虐待の対応について

土屋 裕彦 議員

スクールロイヤーの配置は、どういった活用を目指したもののか伺います。

スクールロイヤーは、学校に配置する弁護士で、いじめや保護者とのトラブル、体罰、教員同士のトラブルと、さまざまな問題の法的解決を目指しています。

スクールロイヤーを配置すると経費はどのくらいかかるものなのか伺います。

港区を例にとりますと、港法曹会と委託契約を結んでおり、委託料として年間324万円を計上しています。

スクールロイヤーの配置についての見解を伺います。

国や県のスクールロイヤー制度の活用について調査・

検討します。なお、鎌ヶ谷市では現在、児童生徒を取り巻く問題について、必要に応じて市の顧問弁護士に相談し、法的アドバイスを受ける体制を整えています。



鎌ヶ谷大仏駅周辺の交通環境の改善について

宮城 登美子 議員

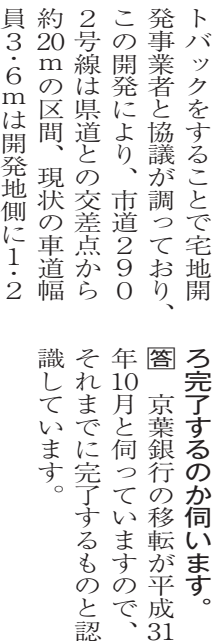
大仏交差点の一角に位置する京葉銀行の移転先の工事はもう既に進んでいるようですが、通称井草交差点から東鎌ヶ谷2丁目方面に向かう市道2902号線の拡幅に協力を求められないのか伺います。

市道2902号線のセツトバックをすることで宅地開発事業者と協議が調っており、この開発により、市道2902号線は県道との交差点から約20mの区間、現状の車道幅員3.6mは開発地側に1.2m広がり、4.8mに整備され既存の歩道幅員1mを含め道路幅員が5.8mとなりま

すので、以前と比較して当該区間は車両同士のすれ違いが円滑になり、通行の改善が図られるものと考えています。

その拡幅整備は、いつごろ完了するのか伺います。

京葉銀行の移転が平成31年10月と伺っていますので、それまでに完了するものと認識しています。



市道2902号線 (通称井草交差点)

「地域包括ケアシステム」の構築について

川原 千加子 議員

内閣府の調査によると、最期を迎えたい場所は自宅が54.6%となっています。訪問診療と訪問看護を24時間体制で対応している所は市内に何件ありますか。

24時間対応の訪問看護事業所は6カ所、訪問診療は市内7医療機関の内、2医療機関が対応しています。

24時間体制で看取りまで行う医療機関を増やす必要が

あると思いますが、今後の取り組みについて伺います。

今後本市のみでなく、近隣の医療機関、訪問看護事業所と連携し、在宅医療や看取りを支える体制を整備していきます。

在宅療養や在宅での看取りの理解のために市民への啓発冊子の作成を要望したいと思いますが、見解を伺います。

啓発が必要なのは認識



しており、今後は啓発冊子の作成や講演会の開催などについて検討していきます。

鎌小の通学路沿いの危険な竹ヤブ対策・その後は

津久井 清氏 議員

12月議会で質問した鎌小通学路沿いでひったくり犯の隠れ場になった竹ヤブの刈り取りについて伺います。

本年1月に当該土地の相続人から連絡があったので、改めて履行期限までに適正管理をするよう伝えました。その際に先方の居住地が遠方であることから、造園業者のあっせん依頼があり、市内業者を相続人に紹介しました。

本年2月にも竹ヤブ近くでひったくり事件が発生していますが市の認識について伺います。

事件があったことについては承知していますが、犯人は未逮捕とのことで、事件の詳細を確認することはできませんでした。

万が一事件が発生すれば、市に重大な責任が発生すると思いますが見解を伺います。



市としても強制力を持つ条例の有効性は認識していますが、今後、早急に調査検証していきたいと考えます。

議案に対する質疑

各会派の代表者が市長の提出議案に対して、質疑しました。主な内容は次のとおりです。

政友会 宗川 洋一

○議案第7号(議案第11号) 一般会計が過去最大規模の予算総額になります。平成31年度当初予算の編成に当たり、どのような方針で取り組みましたか。また、その特徴について伺います。

○ 予算編成の基本的な考え方として、1点目として後期基本計画に定める目指す姿の実現及び鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略に定める目標の達成に向けた事業展開を行うこと、2点目として持続可能な行政運営の推進の2つを掲げました。この基本的な考え方に基づく基本方針として、各部署における予算編成の推進、公共施設の長寿命化の推進、特別要求枠の活用、重点政策を考慮した枠配分の実施、財政健全化に関する目標設定、財政の中期的な展望の反映の6つを掲げて編成したところであります。

○ 議員 大きく5つを掲げて編成した点です。1点目は後期基本計画に定める目標の達成に向けた取り組み、2点目は人口増加に向けた取り組み、3点目は扶助費の財源を優先的に確保、4点目は公共施設長寿命化に向けた改修促進、5点目は幼児教育無償化の取り組みを掲げ予算編成しました。このように平成31年度予算は第4次実施計画補正版の具現化を目指し、都市基盤整備の推進や子育て世帯を中心とした人口流入策を実施することの魅力あるまちづくりへの事業展開を推進するものとなります。また、予算編成後の各種基金残高においても、財政調整基金は予算編成方針で掲げた残高目標11億円を超える約14億円を確保するなど、総額で約40億円を確保し、今後の財政運営へも配慮するよう取り組んでいます。

公明党 池ヶ谷 富士夫

○議案第2号 国民健康保険には賦課限度額が設定されていますが、どのような考え方で設定されているのか伺います。また、今回の改正で影響を受ける階層はどのような世帯か伺います。

○ 議員 医療保険制度では受けられる医療給付については保険料負担にかかわらず一律である

被保険者の割合で1%から1.5%の間になるよう法定するルールがあり、国民健康保険においても限度額超過世帯割合が1.5%に近づくとくに段階的に引き上げを行っています。

○ 議員 影響を受ける階層ですが、国民健康保険で一般的

市民平和クラブ 針貝 和幸

○議案第6号 居宅介護サービス給付費が増加している理由について伺います。

○ 議員 サービス給付費については、高齢化の進展に伴い、要介護認定を受け、介護サービスを利用する方も増加している中で年々増加している状況です。また、平成30年度では

な2人世帯の基礎賦課分だと、現行では給与収入が約984万円以上の世帯が一律で58万円となっていました。今回の改正により、約984万円以上の世帯では段階的に保険料が上がり、約1千27万円を超えること一律で61万円となります。

日本共産党 佐竹 知之

○議案第7号 徹底的な行政改革に取組むとありますが、その内容を伺います。

○ 議員 鎌ヶ谷市行政改革推進プランに掲げる歳入増への取り組み、歳出抑制のための取り組み、変化に対応できる行政体質構築のための取り組みといった3つの柱による取

り組みに加え、各年度の予算編成の中で歳入確保、歳出削減を行っていくため、各種税率の向上や民間委託等、未利用地の売却促進と有効活用、時間外勤務の抑制などを行うこととし、その旨平成29年度決算後に策定した中期財政見通しに明記しています。

請願・陳情を提出される方へ

請願・陳情はどなたでも提出することができます。が、定例会での審議を希望する場合は、議会事務局窓口へ直接提出してください。

○ 請願書は、議員の紹介が必要です。(※陳情書は不要)

○ 要旨は簡潔、明瞭に記載してください。(※陳情書は不要)

○ 署名簿を提出する場合には、住所、氏名及び押印が必要となります。押印がないものは署名数には含めません。

○ なお、郵送により提出された陳情は、その写しを全議員に配付しますが、審議はいたしません。

○ 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

予算審査特別委員会

平成31年度鎌ヶ谷市一般会計及び4特別会計予算について審査を行いました。

○ 一般会計についての主な審査内容は次のとおりです。

(総括)

○ 今回の予算案は、どのような点に重点を置いた予算であるのか伺います。

○ 子どもからお年寄りまでずっと笑顔で暮らせるまちを実現するために、未来に向けたさらなる発展につなげるまちづくり、全ての市民が暮らしやすさを実感できるまちづくり、産業が盛んで、文化、スポーツ、緑を楽しめるまちづくりの3つの柱を立てて重点化を図った予算です。

特に、平成31年度中に全線高架化を予定している新京成線連続立体交差事業などの都市基盤整備、(仮称)東部地区児童センター設置事業などの子育て世代を中心とした人口流入策を実施することで、魅力あるまちづくりへの事業展開を推進していくものとしています。

(歳入) 個人市民税の現年課税分が前年度と比較して、1億1千553万円増額となった要因を伺います。

○ 二つの要因があり、一つ目は、調定見込みで、雇用、所得環境の改善が続くことにより、納税義務者の増加と個人所得の増加を考慮したことです。

二つ目は、徴収率で税の公平、公正の確保を基本理念とした実効性のある徴収業務を推進した結果、直近3年間の平均徴収率が98.12%と向上したことなどを踏まえたも

(歳出)

○ 風疹の抗体検査及び予防接種の実施について、目的及び内容を伺います。

○ 妊娠20週ごろまでに風疹ウイルスに感染すると、胎児が先天性風疹症候群にかかる可能性があることから、これを防止することが目的です。

対象者は抗体保有率の低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で、事業の期間は、平成34年3月31日までの3年間です。

当該年齢の風疹抗体保有率は80%であり、まずは抗体検査を受け、抗体がない方が予防接種の対象となります。

予算審査特別委員会委員

- 委員長 土屋 裕彦
- 委員 佐藤 誠
- 委員 野上 陽子
- 委員 中村 潤一
- 委員 森谷 宏
- 委員 宮城 登美子
- 委員 泉川 洋二
- 委員 宗川 洋一
- 委員 針貝 和幸
- 委員 池ヶ谷 富士夫



議案番号等	件名	審議結果
議案第1号	鎌ヶ谷市東日本大震災復興基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第2号	鎌ヶ谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第3号	鎌ヶ谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第4号	平成30年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 全会一致
議案第5号	平成30年度鎌ヶ谷市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第6号	平成30年度鎌ヶ谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第7号	平成31年度鎌ヶ谷市一般会計予算	原案可決 賛成多数
議案第8号	平成31年度鎌ヶ谷市国民健康保険特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第9号	平成31年度鎌ヶ谷市公共下水道事業特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第10号	平成31年度鎌ヶ谷市介護保険特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第11号	平成31年度鎌ヶ谷市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第12号	陸上競技場改修工事請負変更契約の締結について	同意 全会一致
議案第13号	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合規約の変更に関する協議について	原案可決 全会一致

議案番号等	件名	審議結果
議案第14号	平成30年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算(第6号)	原案可決 全会一致
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任 全会一致
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任 全会一致
発議案第1号	鎌ヶ谷市議会定例会に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
発議案第2号	鎌ヶ谷市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決 全会一致
発議案第3号	専決処分事項の指定について	原案可決 全会一致
発議案第4号	幼児教育・保育無償化に係る制度の拡充及び地方自治体への財政措置を求める意見書	原案可決 全会一致
陳情31-3-1	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択 賛成少数
陳情31-3-2	「幼児教育・保育の『無償化』に係る制度の拡充、及び、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書」の提出を求める陳情書	採択 全会一致
陳情31-3-3	「会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書」の提出を要請する陳情書	継続審査 賛成多数
陳情30-9-1	東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する陳情	継続審査 賛成多数

(お知らせ) 次の定例会議号は、8月15日(木)発行予定です。